



公益社団法人 兵庫工業会

副会長 岡田 兼明
(大和産業株式会社)



兵庫工業会 NEWS

2025年11月号

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.321

マッチ 1 本からの人育て －マッチ産業150周年に寄せて－ ■ 巻頭言 ■

本年度より副会長を務めております岡田兼明でございます。

岡田の会社・大和産業株式会社は今年で創業106年になります。祖父兼治が20歳で始めたマッチ製造が祖業でして、私が大学を卒業しました昭和53年頃までは、マッチの製造販売が事業の中心で成長することが出来ておりました。しかし、第一次・第二次のオイルショック時に、100円使い捨てライターの登場と自動点火器具の登場で、マッチの需要は右肩下がりとなり、補完するために紙加工の分野ポケットティッシュやウエットティッシュの製造、その他ノベルティグッズの製造などに枝葉を広げて来た経緯があります。

ところで、2025年本年は我が国日本にマッチ産業がヨーロッパよりもたらされて150年になります。一つの産業が100年以上、大きな進化もなく生き残ってこれたのは驚きでもあります。スウェーデンマッチなど多国籍企業との闘いなど幾多の苦難・試練を経て、今日に至っております。かつて神戸港からの輸出品目のトップ1-2を争う商品であったことを皆さんはご存知でしょうか。神戸トヨタまた滝川中・高校の一族ご先祖瀧川辨三氏が神戸商工会議所の会頭をされていた当時、長田で日本一のマッチ工場の経営をされていました。これも神戸経済界の一つの歴史の一コマで、神戸港から中国やインドの華僑商社あてに積み出されていたようです。

マッチは燐寸と書きます。燐は元素の一つリンです。英語名は別にありますが、鬼火や人魂を意味します「燐」の字があてられました和名からは、どこことなく命の残り火を連想させます。元素記号はP。17世紀に人間の尿から発見されて、生命の働きにはなくてはならない元素。NASAが火星で採取した岩石に有機物や硫黄、酸化鉄、そしてこのリンが豊富に含まれていたとか。リンの英語名はホスファラス、それは「光を運ぶもの」が語源だそうで、はるか火星の岩石が運んでくる光は…マッチ産業はそれゆえ150年産業たりえたのかも？

岡田兼明は兵庫工業会の人材育成部門を担当させていただく事になりましたが、その事業・研修セミナーのレベルの高さにいまさらながら驚いています。このご縁が皆様の御会社と共に弊社のレベルアップにもつながりますように、そして自身の切磋琢磨が皆様のお役にたてますように、精進いたしますので、どうぞ宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

国際フロンティア産業メッセ2025 併催セミナー ご報告

9月5日(金)、国際フロンティア産業メッセ2025において、2つのセミナーを実施しましたので、以下報告します。

1. 「変革へのチャレンジセミナー 異文化・異文明を吸収活用！ 海外理工系エンジニアの ものづくり企業への可能性を考える／インド編」 後援 在大阪・神戸インド総領事館

天平勝宝4年（西暦745年）東大寺の大仏開眼導師をインドの高僧が務めたのをご存じですか。大正4年（西暦1915年）日英同盟締結下、それでも頼るは日本だけ！そんな思いだけで神戸に降り立ったインド独立運動家のことをご存じですか、それを匿い、支援した日本人のことを知っていますか。そんなインドとの熱い絆をバックボーンに今回のセミナーを企画。その意図を快くご理解いただいたチャンドル・アッパル在大阪・神戸インド総領事より、冒頭熱いご挨拶をいただきました。

その後、インド専門の人材紹介会社(株)Wilings（インド最高峰インド工科大学 全23校と提携）、Zenken(株)（上位第二グループ50校以上と提携）よりインド理工系大卒者の日本での就労の可能性が語られました。まず2社共、日本の初任給レベルの給与水準であり、2万人以上の来日希望者が登録しているとのこと。また、インドの理工系大学と言えばIT人材のイメージが強いのですが、それだけではなく半分近くは機械、土木、建築、電気・電子、化学などの基礎工学系の学生であるため、企業側が採用したい人物像を申し出れば、複数の人材が紹介されとのこと。その他、両社の日本語習得プログラムについての紹介もなされました。

続いて、インド工科大学出身のエンジニアを複数名採用している東日印刷(株)より、彼らの優秀さや、日本で定着に向けた工夫、そこから得られた気づきや苦労話など、実際の経験に基づくお話がありました。

最後に、兵庫県産業労働部および神戸市経済観光局より、海外人材を雇用する際の支援策などについてご説明をいただきました。

海外理工系人材に興味がある企業には参考になるセミナーになったかと思います。今後は理工系人材のみならず、在大阪・神戸インド総領事館との関係構築をきっかけに、インド進出・ビジネスの支援事業も企画して参ります。



在大阪・神戸インド総領事を囲んで

2. 「ものづくり分野における女性就業の促進セミナー 経営課題から考える人材確保～人材マネジメントのヒントがここに～」

武庫川女子大学 経営学部 山下紗矢佳准教授をお迎えし、多様な人材活用の可能性についてご講演をいただきました。

山下准教授は、少子高齢化による採用難が続く中小企業において、「多様な人材の活用こそが企業の持続的成長の鍵である」と指摘。そのうえで、女性や文系人材をはじめとする、これまで十分に活躍の機会が広がってこなかった層にも目を向けることの重要性を強調されました。

その具体的な手法として紹介されたのが、兵庫工業会が推進する「業務仕分け」です。

業務仕分けとは、企業の業務を部署毎、担当者毎に棚卸、可視化して、どの仕事を誰が担えるのかを再整理する取り組みです。経営者が無意識に抱えていた“現場の思い込み”を解きほぐし、新たな人材活用の可能性を見出すことができます。

この仕組みは、単に女性活躍を促すものではなく、文系人材、海外人材、シニア層など、多様な人材の力をものづくりの現場で活かすための「経営者の頭の整理術」としても注目を集めています。

講演では、実際に業務仕分けを導入した企業の事例も紹介され、女性やシニアの戦力化、現場社員の意

識改革、採用力向上といった成果が共有されました。

「多様な人材を受け入れることが、結果として既存社員の働きやすさをも高める」との言葉が印象的で、参加者からは「経営の原点を見直すきっかけになった」との声も寄せられました。

この「業務仕分け」の考え方は、今や兵庫工業会が真正面から取り組む「人材難」という兵庫のものづくり企業共通の問題に対する解決策の中核の一つに成長致しました。業務の棚卸、可視化、見直しと経営戦略との連動によって将来を見据えた採用活動、人材定着が進み誰もが能力を発揮できる職場を実現、持続的な企業成長へとつながっていきます。

兵庫工業会では今後も、「業務仕分け」を軸に、女性や若手、文系、海外人材など、多様な人材が“ものづくり企業で輝ける社会”の実現を目指して参ります。



セミナーの様子

「会員訪問・情報交換会」試行 ご報告

会員交流委員会では、“中堅・中小規模の会員企業を訪問して事業・製品を知り、共通する経営課題や悩み等について情報交換・意見交換する交流会”を新規会員交流事業として事業化するため試行を重ねてきました。

このたび事業化検討の最後の試行として、2025年度第2回目の試行を行いましたのでその概要を報告します。

- (1)開催日 9月25日(木) 14時～19時
- (2)開催場所 赤穂化成(株) 赤穂工場
- (3)参加者 14社19名
- (4)内容 企業見学、情報交換会、懇親会

・企業見学

はじめに池上社長より製塩技術・精製技術を基に化成品へ大きく伸長させた経営、歴史背景等をお聞きしました。

見学では、研究・開発部門→生産・検査・出荷ライン→天日塩製作施設→伝統工芸「赤穂緞通」製作施設を紹介いただきました。今回の会場となった「天塩スタジオ」、アマテラスなど部屋のネーミングははじめ、個性的な事務所棟、本業を通じた地域や消費者との積極的な交流を垣間見ることが出来ました。

・情報交換会

「わが社の生産効率化・業務効率化の取り組み状況（現状と課題）」をテーマに情報交換を行いました。

開催企業の赤穂化成(株)様から、「AIによる外観検査システム」を開発し、品質向上、省人化を達成された旨ご紹介いただいた後、参加各社より自社の現状について紹介いただきました。

予めテーマを共有し、多様な企業が情報交換することで大変有意義な場となりました。

・懇親会

参加者全員と交流でき、非常に良い刺激となりました。

赤穂化成(株)様におかれましては、ご丁寧にご対応くださり、誠にありがとうございました。

試行の結果好評をいただきましたので、「会員訪問・情報交換会」は、2026年度から事業化することとなりました。

年2回程度開催いたしますので、会員皆様のご参加をぜひともお願いします。



懇親会後の集合写真



HKテクノロジー株式会社

本社 〒651-2138 神戸市西区玉津町吉田484-3
TEL: 078-922-5555 / FAX: 078-922-5005
URL: <https://www.hk-tech.co.jp/>
代表取締役社長: 高木 祐

当社は、2015年に原子力発電所の再稼働にあたり、必須要件とされる重大事故（シビアアクシデント）発生時の対策設備として、放射性汚染物質の吸着フィルターを製作することを生業として創業しました。顧客である、各電力会社は新たな安全対策を含む新規制基準に合格するために、様々な技術課題に取り組まれています。

当社は、放射性汚染物質吸着フィルターをきっかけに、様々な技術課題に対応すべく、火山灰を除去するセパレータの開発、有毒ガスの揮発防止策、膨大なデータのデータ処理など幅広い技術テーマについて応えて参りました。

そんな当社が、新たな社会課題に対して、当社のエンジニアリングの強みを活かさないか？と始めたのが現在の「Smart FA（ロボットエンジニアリング）」事業です。

世界的に見ると、日本は人口あたりのロボット導入台数は世界トップレベルですが、導入実績は、自動車や半導体、電気電子など一部の業界に偏っています。

既に人口減に直面し、ものづくり立国ながら、労力不足という課題に取り組んでいかなければならない日本。製造業に何とか新たな解決策をご提案したいとの思いから、協働ロボットとAI処理を中心に製造プロセスの自動化を実現するロボットエンジニアリングの事業をスタートしました。従来のFA（Factory Automation）とは異なり、当社が製造業だからこそ、ユーザーの視点を加え「お客様の収益を最優先する自動化を実現する。」との思いを込めて、ロボットエンジニアリング事業を「Smart FA事業」と名付けました。

そして、お客様のコストとリスクを抑えた導入を実現するために、無料の現場診断や収益のコンサルティング、実ワークを使った無料事前検証サービスなど、導入をサポートしています。中には、自動化せずに治具を提案させていただく場合や、完全自動化ではなくあえて人手を残す自動化により、コストを抑え収益を優先した提案をすることもあり、お客様から好評をいただいています。

事業を開始して2年目ですが、ご依頼は省力化が課題となる大手の製造事業所から、未来への生き残り策として自動化を導入する中小企業まで、様々な業種と企業規模のお客様から自動化のご依頼をいただいています。

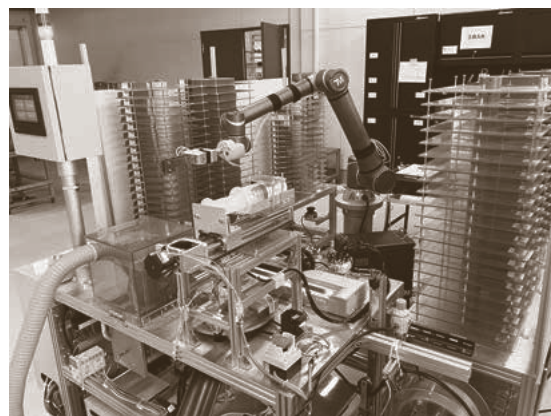
全てのご依頼に対して当社では理念の一貫性を大事にしています。当社の企業理念には「ものづくりに関わる組織と人の豊かさを創造する」ことが謳われています。

「Smart FA事業」における組織と人の豊かさとは、①自動化設備により、低コストでの生産を実現することにより、お客様の収益性が向上する事。②ロボットやAIといった分野について、お客様従業員の新たなスキル習得を当社がサポートさせていただき、新たな活躍の場を創る事にあると考えています。

これからもお客様との達成の思い出を創り続けて参ります。



展示会 出展



自動化した自社の生産設備

第43回管理監督者研修ご報告

9月12日(金)～13日(土)の2日間、46名の参加者を迎えて、「第43回管理監督者研修」を実施しました。

研修は、リーダー・係長クラスと管理職クラスに分かれ、それぞれのカリキュラムに取り組みました。

リーダー・係長クラスは、従来のPDCAサイクルの理解を踏まえつつ、チームを率いる上で不可欠なリーダーシップの本質に迫り、演習を通じてコミュニケーション強化や目標設定の実践的手法を体得しました。

管理職クラスは、「あるべき管理職像」を軸に、ロジカルシンキングの基礎講義とビジネスコーチング演習を組み合わせたプログラムを展開。自己分析を通じて自身の強み・課題を明確化し、今後の行動計画を立案しました。研修終了後も、進捗報告を通じて継続的にフォローアップを行います。

夕食時には情報交換会を開催。例年にも増して参加者の熱意が高く、開始前から名刺交換が始まるほどの積極的な交流が見られました。多様な業種・職位の方々が一堂に会し、新たなネットワークを築く貴重な場となりました。

2日目は「労務管理の基礎知識」をテーマに、労働時間の規制、メンタル不調者への対応、安全配慮義務など、管理監督者が押さえるべきポイントを網羅しました。活発な質疑応答とグループディスカッションが行われ、理解を深める有意義な機会となりました。

参加者からは「自社の課題解決にすぐ役立つ内容だった」「講師の具体例が分かりやすく、意欲が湧いた」といった声が多数寄せられ、充実感あふれる研修となりました。

今後も研修内容のさらなる充実を図り、多くの皆さまの参加をお待ちしております。

※次年度は2026年9月4日(金)～5日(土)に開催予定です。



リーダー・係長クラス講義風景



管理職クラスにおける受講生発表

人材難を打破する採用力強化の道 「HYOGO採用イノベーションスクール」第5期始動！

人口減、若年層の人材定着難、理科離れ、人口流出、人材採用難など、兵庫のものづくり中小企業における「人材難」は、今や経営の最重要課題となっています。兵庫工業会では、こうした状況を打開するため、「HYOGO採用イノベーションスクール」を今年は9月12日(金)より12社14名で開校、スタートさせました。

本スクールは、従来の採用活動を「人事の仕事」という認識から、「経営戦略の一部」として再構築することを目的に、経営戦略と採用活動を連携させた実践的なプログラムです。全12回の講義とワークショップを通じて、自社の魅力を発見・整理し、応募から定着までのストーリーを設計。最終的には、自社の採用戦略を形にした「採用向けポスター」を制作します。

講師には、業務仕分けの武庫川女子大学 経営学部 山下 紗矢佳准教授、採用活動をデータから科学する(株)人材研究所 代表取締役 曾和 利光 氏、経営学やデザイン思考、広報戦略の専門家である富山大学 芸術文化学部 講師 岡本 知久 氏、採用ステージメーカーの(株)ライン 専務取締役 長瀬 達彦 氏が参画。大学教員・実務家・経営者が一体となって、中小企業が自社の経営戦略に合った人材を見極め、育て、定着させるための理論と実践をサポートしています。

また、単なる講義にとどまらず、他社との対話や実際の就活イベントでの検証など、学びを「現場で活かす」仕掛けが随所に盛り込まれています。受講企業からは「採用活動を通じて自社の強みを再認識できた」「人材を“選ぶ”から“共に創る”に意識が変わった」といった声が毎年寄せられています。

本事業は、経営戦略と連携させた採用活動、育成、定着活動の強化を通じて、若手・女性・文系・海外人材など、多様な人材がものづくり企業で活躍できる環境を整備し、地域産業の持続的な発展につなげることを目指しています。

兵庫工業会では、今後も中小企業の人材確保・育成・定着を支援する取り組みを継続し、人材難の克服に向けた実効的なモデル事業を進めて参ります。



開講式の様子



受講生の様子

“イノベーション現場”を体感 韓国ソウル1泊2日くすのき会海外視察研修 ご報告

7月例会では、神戸空港より直行便でつながった韓国・ソウルへ1泊2日の弾丸ツアーを実施いたしました。県外研修としては久方ぶりの海外視察となり、OBメンバーを含め多数の参加を得て、実りある研修の機会となりました。

初日は、韓国を代表する自動車メーカー・現代自動車のブランド体験施設「現代モータースタジオ」を訪問。自動運転技術やEV（電気自動車）開発、カーボンニュートラルへの取り組みなど、未来志向のモビリティ戦略を直接見聞し、技術革新を企業価値として昇華させる同社の姿勢に強い感銘を受けました。

翌日は「サムスンイノベーションミュージアム」を視察。創業期の家電製品から最新半導体までの展示を通じ、持続的な研究開発と人材育成がいかに企業成長の原動力となっているかを学びました。韓国産業界に脈打つスピード感と挑戦精神は、我々にとっても多くの示唆を与えるものでした。

食事では宮廷料理や参鶏湯など、本場韓国の伝統の味を堪能。短期間ながらも、視察・交流・食文化を通じて多くの刺激と学びを得る旅となりました。経済発展を遂げる韓国の勢いを肌で感じつつ、我々くすのき会メンバーも会社に戻ってイノベーションを起こせるよう今後も精進していきたいと思いました。

来年の県外研修は成長著しいインド視察を計画しております。

（文責：くすのき会 株式会社本整備機製作所 番所 祥平）

くすのき会に興味をお持ちの方がおられましたら、随時体験入会を受け付けております。お気軽にご連絡ください。また、御知己の方で入会対象者がおられましたら、ご紹介賜りたくよろしくお願い申し上げます。



Hyundai Motorstudio Goyang



懇親会の様子



サムスンイノベーションミュージアム



懇親会場

叙勲・褒章の栄

2025年度秋の叙勲・褒章が発表され、当工業会では次の方がその栄に浴されました。

会員の皆様とともに、心からお祝申し上げます

旭日双光章	田井 三治 氏	株式会社タイネクス 代表取締役社長
旭日単光章	福永 稔 氏	株式会社薫寿堂 代表取締役会長

「しんゆう会・女性会」合同見学会ご報告

しんゆう会・女性会合同で、10月22日(水)に(株)井上鉄工所様のご招待により、魚吹八幡神社の秋季例祭「ちょうちん祭り」の見学を実施いたしました。

お祭り観覧のために、2階席をご用意いただきました。木の温もりが感じられるお部屋には、美しい着物や精巧なミニ屋台、祭りの様子を描いた絵画などが飾られており、とても雰囲気のある空間でした。皆様で美味しい昼食をいただきながら、和やかに交流を深めることができました。

また、郷土料理である「コノシロずし」を、(株)井上鉄工所の井上専務が心を込めて手作りくださり、皆様にごふるまってくださいました。

2階席から眺めるお祭りは迫力満点で、屋台の動きを間近に感じることができました。色とりどりの屋台が織りなす躍動感あふれる光景に感動し、華やかな衣装や伝統を感じさせる装飾にも魅了されました。

帰りの際には、(株)井上鉄工所創業70周年の記念品と、手作りのお寿司を頂戴し、最後まで温かいお心遣いに包まれた一日となりました。



集合写真



コノシロずし



屋台の様子

新 会 員 紹 介

株式会社ジャバラ

代 表 者 代表取締役専務 藤中 佑太
所 在 地 〒541-0053
大阪市中央区本町3-5-7
T E L 06-4708-8946
F A X 06-4708-8947
U R L <https://jabara.co.jp/>
資 本 金 45,000千円
従業員数 132名（グループ全体）

■営業品目

輸送機器、工作機械、産業機器、設備、道路関連資材向けの各種部品の設計・販売

■事業内容

私たちジャバラグループは、社名が示す通りジャバラの特性を活かした独自の技術設計を強みに、新幹線N700系用全周ホロによる大幅な騒音低減など、社会課題の解決に取り組んできました。これからも時代の変化や複雑化する産業課題に対応し、新素材や新工法の研究開発を進めることで、顧客価値と社会的意義のさらなる向上を目指し、未来の社会基盤を支える技術を着実に磨いてまいります。



40周年記念式典のご案内

毎年12月に開催しております「会員交流懇親会“忘年パーティー”」ですが、今年は兵庫工業会創立40周年の記念の年にあたるため、「40周年記念式典」として「記念講演会」「表彰式」と併せて開催いたします。

是非、多くの皆様のお申込みをお待ち申し上げます。

お申込みは右記QRコード、または兵庫工業会ホームページよりお願いいたします。

◆日 程：2025年12月5日(金) 15:00～18:30

◆場 所：神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町6-10-1）南館1階 「大輪田」

◆参加費：13,000円／人

◆内 容：記念講演会 「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」

講師：福岡 伸一氏（生物学者・作家）

表 彰 式 功労者表彰、長寿企業表彰

会員交流懇親会“忘年パーティー” 鏡開き、福引大会



兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px : 580px **JPEG形式として**
容 量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するのはご遠慮願います。
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金： **1年 / 20,000円** (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込
・
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当: 川井、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階
TEL: 078-361-5667 FAX: 078-371-4336

冬期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら2025年12月27日(土)～2026年1月4日(日)まで、冬期休業といたします。(2026年1月5日(月)より通常業務) この間、何かとご不便ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

会 員 動 向

代表者登録変更

企 業 名	新 登 録 者	旧 登 録 者	変 更 月
一般社団法人 神戸貿易協会	会 長 船越 照平	長田 庄太郎	2025年5月
日清テクノス(株)	代表取締役社長 吉田 貞二	露口 浩	2025年8月
洲本商工会議所 工業部会	部 会 長 飛松 孝治	番所 利行	2025年11月

代表者役職変更

企 業 名	新 役 職 名	旧 役 職 名	変 更 月
(株)神栄興業	代表取締役社長 馬場 耀平	専務取締役	2025年8月

住所変更

企 業 名	新 住 所	変 更 月
明興産業(株)	〒653-0032 兵庫県神戸市長田区苅藻通1-3-1	2025年10月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
12月5日(金)	40周年記念式典	神戸ポートピアホテル
12月16日(火)	職域における創意工夫者表彰式	神戸市産業振興センター ハーバーホール
12月17日(水)	但馬地域交流会	兵庫県公立大学法人 芸術文化観光専門職大学
2月18日(水)	合同委員会	神戸国際会館
2月26日(木)～27日(金)	会員交流見学会	鹿児島県 (種子島宇宙センターほか)
3月18日(水)	第3回理事会	ホテル日航姫路

公式SNSで情報発信中！

ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram➡



兵庫工業会HP➡



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231